

★平成28年度 港区 地域防災活動実施予定表★

平成28年6月22日現在

地域名	地域防災学習会（園上訓練）	避難所開設訓練
波除		
弁天	・9月29日（日）19:00～防災学習会（弁天小学校）	・11月20日（日）詳細未定 避難所開設訓練（弁天小学校）
磯路	・10月6日（木）19:00～防災学習会（磯路小学校）	・6月19日（日）9時～ 避難所開設訓練（磯路小学校） ・1月21日（土）詳細未定 防災学習（磯路小学校） ※土曜授業と共同
南市岡	・10月14日（金）19:00～防災学習会（南市岡小学校）	・2月5日（日）詳細未定 避難所開設訓練（南市岡小学校）
市岡	・10月4日（火）19:00～防災学習会（市岡小学校）	・11月13日（日）詳細未定 避難所開設訓練（市岡小学校）
田中	・6月25日（土）19:00～ 防災学習会（田中小学校）	・11月27日（日）詳細未定 避難所開設訓練（田中小学校）
三先	・6月28日（火）19:00～ 防災学習会（三先小学校）	・11月6日（日）詳細未定 避難所開設訓練（三先小学校）
池島	・10月11日（月）19:00～ 防災学習会（近隣センター）	・11月12日（日）詳細未定 避難所開設訓練（池島小学校） ※土曜授業と共同
八幡屋	・9月1日（木）19:00～ 防災学習会（三先小学校）	
港晴	・9月17日（土）19:00～ 防災学習会（港晴小学校）	・10月30日（日）詳細未定 避難所開設訓練（港晴小学校）
築港	・7月2日（土）19:00～ 防災学習会（水上消防署）	・3月5日（日）詳細未定 避難所開設訓練（築港小学校）

※地域防災学習会の実施のため、地域において2回程度の打合せ及び、事前学習会を行っています。

※避難所開設訓練の実施のため、地域においてワークショップ及び事前訓練を行っています。

未定稿

Vol. 53



阪神淡路(平成7年)、新潟県中越(平成16年)、東日本(平成23年)、熊本(平成28年)...

— 今、港区では —

(6月18日筆)

熊本地震では、今なお6千人を超える方々が避難生活を送られています。被災地の1日も早い復興をお祈りします。私たちはこの約20年の間に直下型と海溝型の大地震を経験しました。特に東日本大震災以降の港区の取組みをご紹介します、区民の皆さんと認識を共有して防災対策の強化に取り組みたいと思います。

●基本的な考え方

阪神淡路大震災で家屋等に閉じ込められて助かった方16万9千人のうち、自力や家族、隣人等による方が98%、消防等の救助による方が1.7%でした。自助・共助による防災力を更に強化するとともに、特に海溝型地震に対しては、区民一人ひとりが緊急避難場所を決め、津波による死者は一人も出さないための取組みをめざします。

●港区の防災計画

大阪市地域防災計画の下に港区独自の「港区防災計画」を平成25年3月に策定、更にこの計画を踏まえ、各地域主体で全11地域の防災計画を平成26年度に策定しました。

●地域防災力の強化

各地域の防災計画に基づく避難訓練など地域主体の取組みを区役所や危機管理室が支援し、地域の実情を踏まえて見直していくことで地域防災力の強化につなげています。

平成23～25年度 全地域で「図上訓練」と「避難訓練」を実施(区役所主催)

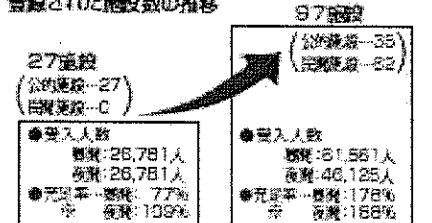
平成26年度～ 全地域で「防災学習会」と「避難所開設訓練」を実施(各地域主催)

●災害時の情報連絡体制の強化

区役所と各地域などとの間及び各地域内の連絡強化のため、大阪市の防災無線システムに加え、平成25年度に港区独自で無線機を導入し、毎年度拡充しています。

●津波緊急避難場所の確保

緊急避難場所として登録された施設数の推移

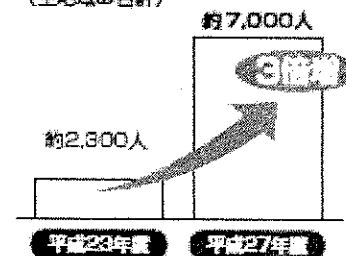


平成24年1月 平成28年4月

*充足率とは...避難受入人数/避難想定人数

●地域防災力の強化

防災訓練の参加者数の推移(全地域の合計)



●津波緊急避難場所の確保

平成25～27年度 マンション低層階住民の中・高層階への避難支援事業(17ヶ所)
平成27年2月 区内地下鉄3駅改札内、ホームを避難場所として確保(約4100名)
平成27年4月 オーク広場等を避難場所とする協定書を締結(約2700名)

●連携の強化

平成26年10月～ 港区防災サポーター登録制度の創設(現在54社、JCと協働)
平成26年10月～ 区内全10郵便局と災害時における協力協定書を締結
平成26年度 港区医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時医療救護に対する活動協力についての確認書を締結

三方海と川に囲まれた港区では津波や災害に対する意識が強く、平成27年の防災訓練には約7000人(人口の約8.5%)の区民が参加されました。一方で、平成27年度の区民アンケートでは、津波の際に自分の避難場所を決めている方は59.4%、災害時に地域で助け合えると思う方は50.0%とまだまだ十分ではなく、「港区まちづくりビジョン」では平成31年度にそれぞれ「80%以上」と「70%以上」をめざしています。港区では「津波による死者は一人も出さない」という思いを区民の皆さんと共有して、引き続き区政の重要施策として取組みを強化します。皆さんも是非、地域の防災学習・訓練に参加してください。(来月の広報みなとは防災特集です)

港区長 田端 尚伸